



2026年度第1回
町田市学びの多様化施策検討委員会

2026年5月20日（水）

15：30-17：00

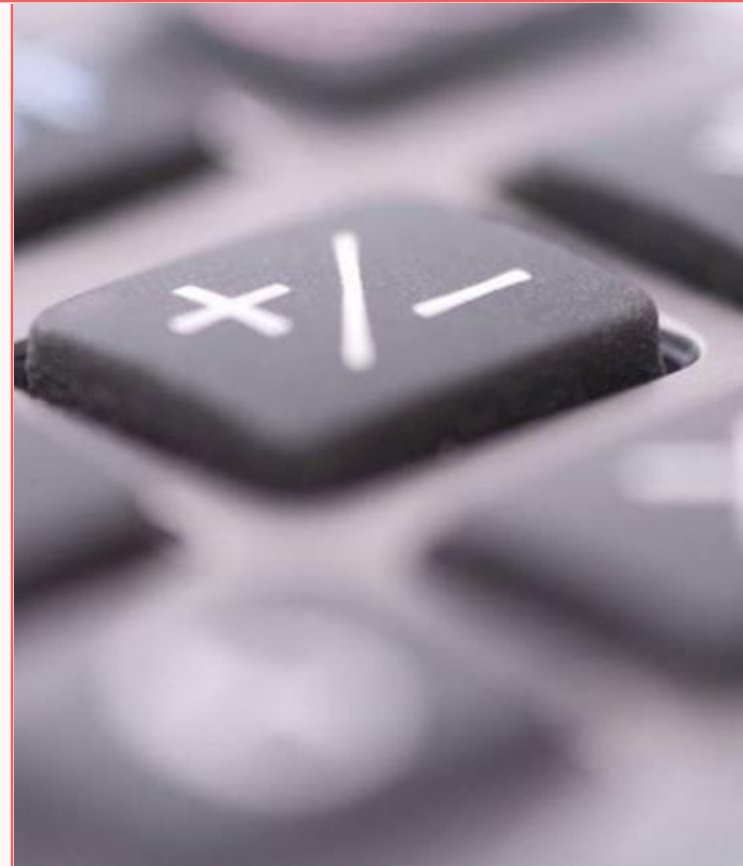
本日の議題

開始の前に

- ・ 委員自己紹介
- ・ 本委員会について

議題

- 1 2025年度検討事項報告
- 2 2026年度の予定について
- 3 不登校児童生徒の現状と支援実績
- 4 「学びの多様化プロジェクト2024-2028」
の改訂について



I 2025年度検討事項報告

『一人一人の社会的自立をめざした

不登校のための対応マニュアル(2026年度・改訂版)』

<構成>

I 不登校について正確な理解をするために

不登校に対する基本的な考え方や町田市の不登校の状況について

II 不登校児童生徒への支援について」

未然防止・早期支援・長期化の支援で必要とされる視点について

III 不登校に係る問題の解決のために」

未然防止・早期支援・長期化それぞれの支援における具体的な取組について

<活用推進>

○全校に分掌「不登校対応教員」を指名 ▷ 組織的な支援体制の整備

○全校、年に1回不登校に関する校内研修を実施

○研修資料の提供・指導主事等の派遣

○不登校対応巡回教員による中学校での活用推進

○「学びの多様化連絡協議会」(2027年2月16日)



I 2025年度検討事項報告

『(仮称)町田市学びの多様化学校基本構想』

5 学びの多様化学校基本構想



学びの多様性を支える取組

基本条件

種別：小中一貫校
場所：町田市南成瀬3-6
(現成瀬小学校用地)
時期：2029年4月開校予定
学区：町市内全域
対象：町田市在住で不登校または不登校状態にある
小学校4年生～
中学校3年生
定員：各学年20名程度を1学級
※在籍児童生徒の実態を考慮して設定する。



成瀬小学校が現在担っている、災害時の避難施設の機能については、学びの多様化学校開校後も継続します。
その他の施設活用については、開校後順次検討します。

ウェルビーイングの向上

- ・コミュニケーションスキルを学び、安心できる集団で対人交流の経験を積む
- ・外部専門家や地域等と協働し、多様な価値観に触れ、自己肯定感を高める
- ・スクールカウンセラーや学習をサポートする指導員等を常時配置

学習支援

- ・「学びの多様化学校教育課程編成会議」において、教育課程を編成
- ・標準時間の7～8割を目安にし、独自取組の時間を確保
- ・子どもごとに異なる学習状況へ配慮し、個々の課題設定に対応

教育支援センターによる移行支援

- ・多機能型教育支援センター分室を併設し、進学・転学を支援
- ・学習と集団活動への準備期間を設ける
- ・学びの多様化学校の体験から転学・進学後まで継続的に支援

環境整備

- ・子どもが安心できる、学校らしくない空間づくり
- ・什器等による可変性・柔軟性のある教室
- ・教室以外にも、居場所となる多目的スペースを確保

2 2026年度の予定について

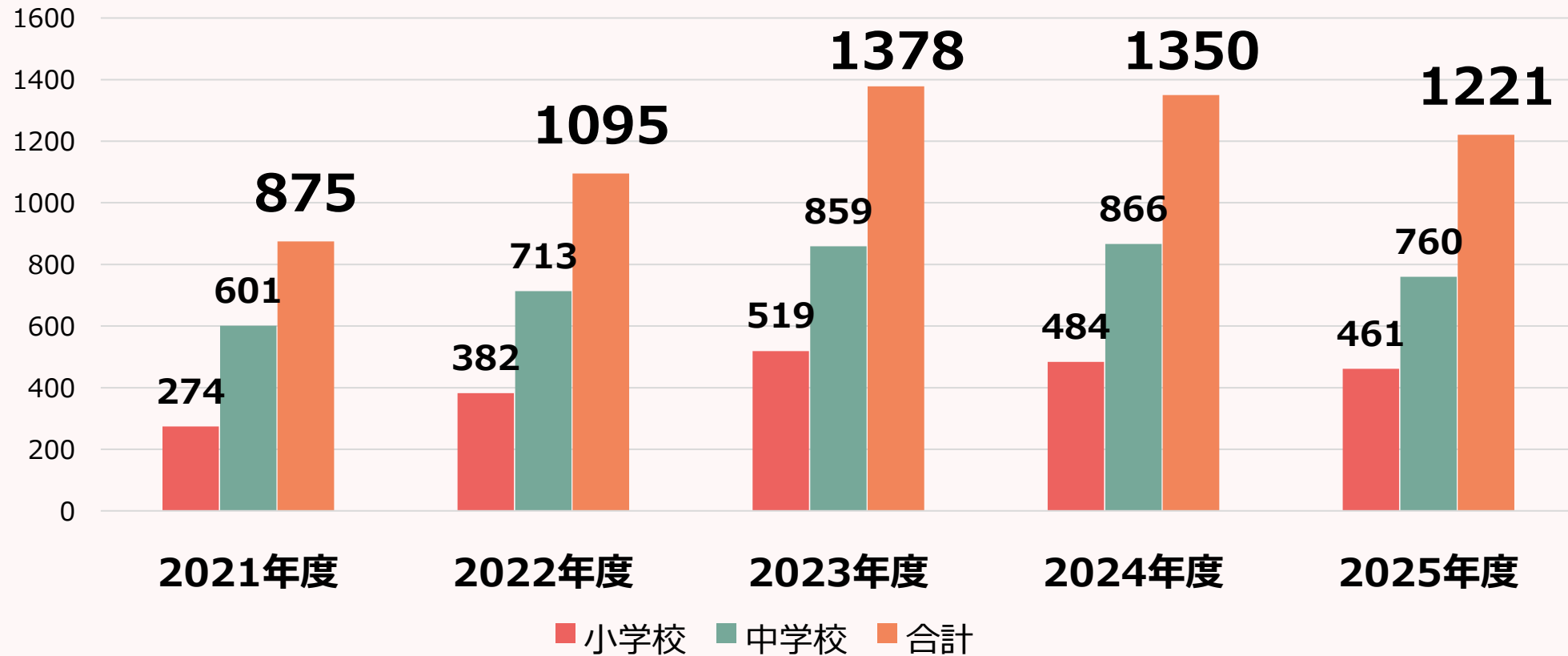
○ 「学びの多様化プロジェクト2024-2028」改訂

5年間の中間年において、不登校児童生徒の実態や社会情勢、文部科学省・東京都の方針等を踏まえ、内容の改訂を行います。

○ 「（仮称）町田市学びの多様化学校基本計画」策定

2029年4月に、現成瀬小学校用地を活用し、本校型学びの多様化学校の開校準備を進めています。どのような児童生徒を対象とし、どのような支援を行うのか、そのための環境をどう整備するのかという点について検討します。

3 不登校児童生徒の現状と支援実績



2025年度町田市不登校児童生徒数（速報値）

2025年度支援実績

不登校対応巡回教員による校内支援

町田市に4人の不登校対応巡回教員が配置(対象は中学校 市内中学校20校)

1人が中学校を5校を担当し、週に1回巡回 ▷ 各校の組織的な支援体制を整備・強化

✿ 取組

- 校内委員会への参加
- 魅力ある学校づくり(居場所づくり、きずなづくり)、生徒指導を意識した授業、生徒等の支援についての助言
- 校内教育支援センター(校内別室)における支援・助言
- 家庭訪問による支援・助言
- 関係機関との連携:教育委員会との月例会、教育支援センター訪問、SSW・SC連携
- 「不登校対応連絡協議会」(2026年2月17日)市内小・中学校に取組を還元・協議

✿ 直接支援・間接支援(助言等)した生徒数(不登校生徒に限らない)
355人(市立中学校20校の合計)

2025年度支援実績 教育支援センター（分室含む）による支援

	登録（入室）者数		見学対応数		出席延べ人数	
	2024	2025	2024	2025	2024	2025
けやき	34	38	96	64	1555	1470
くすのき	99	81	160	90	4545	4370
こもれび	4	4	10	4	200	340
やどかり	20	22	36	25	299	338
メタバース	—	—	—	—	169	139
合計	157	145	295	183	6768	6657

2025年度支援実績

教育支援センター（分室含む）による支援

✿ 登録者数はけやき・やどかりが微増、くすのきは減少した。また、見学申込数が大幅に減少した。→見学申込者数の減少については、要因の精査が必要

✿ 見学者の登録（入室）率は2024年度（35%）から2025年度（40%）に上がった。また、登録者数が減少しても、出席延べ人数は横ばいで、一人当たりの出席日数は増加した。7月の仮設移転による影響もほとんどみられなかった。
→集団、小集団、個別など、児童生徒の状態に合わせたサービスの提供が、通室の安定につながっている。

✿ やどかり教室では、小山市民センターから堺市民センターへの移転（2026年1月）に伴い、堺地域の利用者が増加した。また、やどかり教室からけやき教室に移行した児童が4名いた。
→近隣でちょっと立ち寄れる場所であり、最初の入り口として機能している。

2025年度支援実績

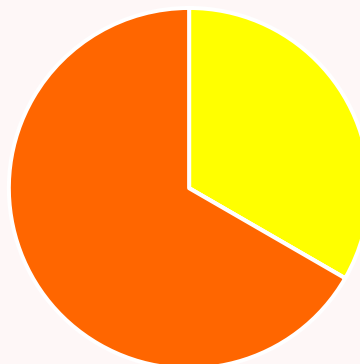
学びの多様化学校分教室ゆめのき

- ✿ 2025年度は1年生5名、2年生1名、3年生6名の総勢12名でスタート。2025年度中に入室希望者の入室体験を実施。2026年1月から2年生2名が追加。
- ✿ 2025年度の年間を通しての出席率は以下のとおり。

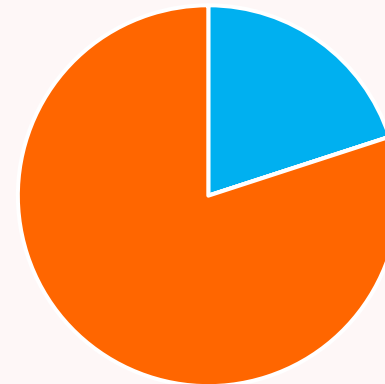
出席率（1年生）



出席率（2年生）



出席率（3年生）



■ 0-25 ■ 26-50 ■ 51-75 ■ 76-100 (単位:%)

2025年度支援実績

学びの多様化学校分教室ゆめのき

- ✿ 学年が上がるにつれて出席率は上昇する傾向が見られた。
→1年生では2学期以降に出席率が下がっていた。小学校とのギャップが大きい可能性。
- ✿ 一方で、個々の生徒の状態によって通室状況は様々であった。通室率が100%に近い生徒がいる一方で、教室に入れなない生徒や通室自体が難しくなってしまった生徒もいた。
→体験通室の際には通えても、実際の入室後の登校が持続しないケースもある。個々の状況に応じた、丁寧な支援が必要。
- ✿ 中学校3年生の進路状況は以下のとおり。

2025年度卒業生の進路状況

都立高校全日制:2名、私立高校全日制:3名、通信制高校:1名

4 「学びの多様化プロジェクト2024-2028」 の改訂について



方針：2023年度策定時と変更があるものについて、実態を反映。
策定以降、新たに取り組んでいる事項について追記。



- ・ 文言修正
- ・ 資料、スケジュールの更新、
- ・ 【新規・追記】不登校対応巡回教員の配置、
不登校担当教員の専任

→ <資料6> 改訂事項の確認

次回日程

2026年10月6日（火）

15：30-17：00

市庁舎 3階 3-1 会議室

- ・ 学びの多様化プロジェクト改訂案
- ・ （仮称）町田市学びの多様化学校基本計画原案

